

**令和6年度 施設指定管理者  
モニタリングレポート(年次評価報告書)**

施設名	ひまわり児童館
指定管理者名	株式会社ポピングエデュケア
指定期間	令和2年 4月 1日 ~ 令和7年 3月 31日 (2期5年目)
所管課	子育て支援課

**1 業務履行の確認・評価**

年次評価	
適正な施設の運営・維持管理が行われているか。	A
<b>【施設の運営に関する基本的事項】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は改修工事中の運営となり、「においが発生する時期」「音が出る時期」等、工事の進捗状況等をお便りに記載した。利用者に事前に工事の状況を伝え、改修中でも利用がしやすいうように工夫を凝らした。</li> </ul>	
<b>【自主事業に関する事項】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部の指導者を招いてのレクリエーション体験を5月に実施。</li> <li>・夏休み期間に計2週間にわたり様々なイベントを実施。延べ227名の参加者があり大変好評であった。</li> <li>・防災・防犯に関するイベントを小学生対象に実施。緊急時にどうすればよいのか、子どもたちがより主体的に考える良い機会となった。</li> </ul>	
<b>【施設の維持管理業務に関する事項】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防点検、樹木剪定、カーペット洗浄実施。</li> <li>・日々、危険箇所や破損の点検、清掃、消毒、除草を実施し、館内外を安全で清潔に保つように努めた。</li> <li>・毎日の安全チェックリストの記入、定期的な備品確認を実施。</li> </ul>	

**2 サービスの質に関する評価**

年次評価	
提供するサービスの水準が確保されているか。 また、サービスの向上が図られていたか。	A
<b>【利用者アンケート(満足度調査)に関する事項】</b>	
<p>&lt;調査の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年2~3月に利用者アンケートを実施。</li> </ul> <p>&lt;調査結果の概要&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者からは、利用環境に感謝の声が多数寄せられた。</li> <li>・清潔で安心して過ごせる空間や職員の親切な対応に満足度が高い一方、室内滑り台やおもちゃなどの整備や定期的な更新を希望する声もあった。</li> </ul>	
<b>【自主事業に関する事項】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・改修工事で活動場所が限られる中、他館との合同事業に挑戦したことは、柔軟な対応力と新たな取組への意欲を示している。</li> <li>・夏休みイベントが多くの参加者を集め好評を得たことは、児童館の魅力や運営力を高め、地域の信頼を深める成果に繋がった。</li> </ul>	
<b>【サービス水準や利用環境に関する事項】</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「児童クラブと併設ではないので、小さな子どもとゆっくり過ごせる」という利用者の声もあり、当館ならではの運営ができた。</li> <li>・改修工事中でも来館者が楽しく過ごせるように努め、「1年生を迎える会」では上級生から1年生に危険箇所を伝える機会を設ける等、子ども自らが安全に配慮しながら過ごせるような活動も行うことができた。</li> </ul>	

### 3 サービス提供の継続性・安定性に関する評価

		年次評価
健全な収支状況のもと、継続的・安定的にサービスが提供されているか。 また、団体の経営状況は健全か。		B
<b>【施設の収支状況に関する事項】　ひまわり・南部・西部児童館 共通事項</b> ・指定管理料(令和6年度決算額48,800,000円)の中では館自体の事業収支は赤字であるものの、企業全体としての事業収支は安定しており、継続的にサービスを提供することができている。		
<b>【団体の経営状況に関する事項】　ひまわり・南部・西部・コスモス児童館 共通事項</b> (株)ポピングエデュケアの経営状況の分析 ・第38期(2024年1月1日～2024年12月31日)の損益計算書では、売上高が前期より増加している。 ・売上高から売上原価を差し引いた売上総利益金額、販売費及び一般管理費、営業利益も前期より増加している。 ・特別損失の減損損失があることにより当期純利益金額がマイナスとなっている。 ・貸借対照表の純資産の合計から、財務内容は良いと言える。		

総合評価	A	<b>【審査委員会コメント】</b> 改修工事の影響を受けて利用者が減少する中で運営をしていかなければならないという難しい局面であった。その中でも、他館との合同行事の開催、館外での防犯訓練の実施のように、工事というデメリットをメリットに変換できるよう活動を展開したという点は高く評価できる。そのような努力が利用者の安心確保やトラブル防止に寄与した。夏休みに実施したイベントが盛況のうちに終わるなど、活動制約下でも成功を収めた当館の運営は、創意工夫を重ねた企画力と満足度向上への貢献を示しており、児童館としての価値を改めて証明したといえる。
------	---	--

#### 【年次評価】 (評価基準)

- S (優 良) : 区分評価が全てA以上、かつSが過半数以上。  
A (良 好) : 区分評価が全てA以上。  
B (課題あり) : 区分評価にBがあった。  
C (要改善) : 区分評価にCがあった。

#### 【総合評価】 (評価基準)

- S (優 良) : 市の要求水準を上回るサービスが提供されている。  
A (良 好) : 市の要求水準に沿ったサービスが提供されている。  
B (課題あり) : サービスの内容の一部に課題がある。  
C (要改善) : サービスの内容に改善が必要である。